



なぜMBAを取得？

現ビジネスの基礎の基礎はMITの授業にあった

齋藤さんが当時勤めていたNITを辞めMBA取得を目指したのは、インターネットと出合い「本場アメリカのネット業界で働きたい」と思ったからだ。

MITを修了後、米ネットスケープ・コミュニケーションズ社で日本市場を統括するポジションで働き、その後IT関連のデジタルガレージでも経営に参画。その際、日本にはイノベータータイプなベンチャー企業を支援する仕組みが足りないと感じ、父親が経営するベンチャーキャピタル（VC）のエス・アイ・ビーに参画した。

海外MBA

起業

グローバルビジネスの入り口に立つ

世界をターゲットにする企業を支援するベンチャーキャピタルを経営。日本にはベンチャー企業を支援する仕組みが足りないと語る。



MITの修了アルバムから。冬はキャンパスが雪で覆われる

私のMBA効果

1

グローバル社会の変化に対応できる力が付いた

2

世界のどの組織ともビジネスを始められる信用力を得た

3

人脈が飛躍的に広がった

MESSAGE

20年前はアメリカが世界の中心でした。今はイノベーションの現場も各国に散らばり、アメリカだけを見てもグローバルビジネスは語れません。世界で勝負するには各国の人が集まる大学院で人間力を高め、自らビジネスの新しい枠組みを作るためにMBA取得が望ましいと思います。

どんな学びが？

MBAはダイナミックに生きるためのパスポート

『メンタリング』について学んだ授業は忘れられません。アメリカのメンターは、年上からの一方通行ではなく、年齢やポジションを超えてお互いが持つ技術や経験を助言し合うもの。それが社会のあらゆる場面で行使されており、アメリカ社会の基

マサチューセッツ工科大 (MIT) スローン校

1997年修了

齋藤茂樹さん(54歳)

東京大学経済学部卒業後、NTT 民営化第1期生として入社。9年目に出合ったインターネットに未来を感じ、退社してMITでMBAを取得。修了後は米ネットスケープ社で日本市場のトップとして働く。現在はエス・アイ・ビー株式会社の代表取締役社長としてベンチャーにハンズオン支援を行う。

NTT (株)

エス・アイ・ビー (株)
代表取締役社長

盤であると教授が言ったことが、当時はピンときませんでした」

20年の月日が流れ、今、自分もそれを実践している。例えば高校の後輩は大学生ながら、仮想通貨などで使う技術「ブロックチェーン」では日本でトップクラスの技術力を持つ。

「お金のやりとりではなく技術の基盤整備に使えないかという

彼のユニークな発想と私のビジネス経験をクロスして、一緒に新しい事業を始めようとしています」

MBAは取得していれば世界の市場での信頼性を担保するもの、と齋藤さん。

「若い世代にはどんどんグローバルに活躍してほしい。私はVCとしてそれをサポートします」